

お茶の間の議会情報誌

議会通信 しんしのつ

Shinshinotsu Village Assembly Information

第143号

2026年(令和8年)

5月1日発行



別れの日、さようならと云った言葉に、ありがとうの言葉が心のなかで重なった。

口径50cmの大型天体望遠鏡が村に寄贈されたのは4年前のこと。そしてその翌年、寄贈者の山本先生が天文台運営のため地域おこし協力隊としてこの村にやって来た。

出前授業などで村の子どもたちに星の魅力を伝えてくれた。「星空の街、あおぞらの街」の全国表彰をうけるなど全国的にこの村を有名にして山本先生は3月末、3年間の地域おこし協力隊の任務を終え故郷の奈良県に帰って行った。

令和8年

第1回 定例会

令和8年第1回村議会定例会が、3月9日から17日までの9日間の会期をもって招集されました。

初日は、村政及び教育行政執行方針のあと、補正予算や条例改正など9件と委員会発委1件を審議した結果、全て原案のとおり可決したほか、1件の専決処分を承認しました。

最終日には、追加の補正予算1件を可決したほか、予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計を原案のとおり可決しました。
また、2人が一般質問を行いました。

定例会の主な内容

補正予算

〔令和7年度補正予算〕

◎一般会計(第10・11号)

歳出補正の主な内容

・職員給与費

△1230万円

・石狩北部地区消防事務組合負担金

△1473万円

・情報システム標準化等業務委託料等

△1016万円

・公金支払サービス手数料

△350万円

・ふるさと納税業務委託料

△7600万円

・定額減税等不足額給付金

△274万円

・社会福祉協議会運営助成金

△257万円

・障害者介護・訓練等給付費

△800万円

・障害児施設給付費

430万円

・児童手当

△370万円

・予防接種業務委託料等

△357万円

・ごみ処理手数料

△326万円

・環境保全型農業直接支払交付金

△290万円

・道営土地改良事業負担金

7300万円

・揚水機場維持管理業務委託料等

△603万円

・基幹水利施設管理事業補助金

133万円

・たつぷの湯改修工事実施設計業務委託料

△495万円

・指定管理施設営繕費負担金

△200万円

・村道・公共施設除排雪業務委託料

△1280万円

・機械借上料

△568万円

・財政調整基金積立金

2112万円

・減債基金積立金

586万円

・公共施設営繕基金積立金

2104万円

・まち・ひと・しごと創生基金積立金

230万円

〈今回の補正額〉

△7384万円

〈補正後の予算総額〉

40億8787万円

◎国民健康保険特別会計(第2号)

歳出補正の主な内容

・高額療養給付費

500万円

・財政調整基金積立金

300万円

〈今回の補正額〉

708万円

〈補正後の予算総額〉

6億9437万円

◎介護保険特別会計(第3号)

歳出補正の主な内容

・介護保険システム改修業務委託料

121万円

・居宅介護サービス給付費負担金

500万円

・施設介護サービス給付費負担金

△300万円

・特定入居者介護サービス費負担金

△200万円

〈今回の補正額〉

88万円

〈補正後の予算総額〉

4億3909万円

条例改正

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、令和8年4月1日から「子ども・子育て支援納付金」を徴収するにあたり、本条例を改正するものです。

◎新篠津村介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令が一部改正され、地方税における給与所得控除の見直しに伴う令和8年度の保険料率の算定に係る特例が定められることに伴い、本条例を改正するものです。

◎しんしのつ天文台設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

しんしのつ天文台の利用料金等の設定の見直しを行うため、本条例を改正するものです。

一般議案

◎新篠津村過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

現行の計画期間が終了することに伴い、令和8年度から令和12年度までの新たな5カ年計画を策定するものです。

◎権利の放棄について

地方自治法の規定により、使用料に係る債権を放棄するため、議会の議決を求めます。

- 1 放棄する使用料の件数及び債権額
住宅使用料
件数 9件
金額 413千円
- 2 放棄する権利の相手方
債務者(個人)

専決処分

◎令和7年度一般会計補正予算(第9号)

- 歳出補正の主な内容
- ・衆議院議員選挙に係る執行経費

〈今回の補正額〉
513万円

〈補正後の予算総額〉
41億6172万円

発委

◎新篠津村議会会議規則の

一部を改正する規則について

円滑な活動環境の継続に資するよう改めるとともに、請願の提出手続きについて規定の整備を行うものです。

令和7年度3月補正予算

会計名	補正額(万円)	補正後の予算額(万円)
一般会計	△6,872	40億8,787
国民健康保険特別会計	708	6億9,437
介護保険特別会計	88	4億3,909
後期高齢者医療特別会計	△39	8,347

議会日誌

(2月)

17日 石狩北部地区消防事務
組合議会定例会
(石狩市)

24日 石狩町村議会議長会定
例総会
(石狩市)

25日 村建設協会通常総会
27日 新年度予算正副議長説
明

議会運営委員会
議員協議会
行政常任委員会

(3月)

5日 予算勉強会
議員研修会

6日 新篠津高等養護学校
卒業式

9日 議会運営委員会
議員協議会
第1回村議会定例会
(初日)

行政常任委員会
議会広報特別委員会

(4月)

12日 予算審査特別委員会
13日 中学校卒業式
17日 議会運営委員会
議員協議会
第1回村議会定例会
(最終日)

18日 新篠津福祉会理事会
19日 小学校卒業式
老人クラブ連合会総会

23日 月新水道企業団議定
例会
(月形町)

石狩教育研修センター
組合議会定例会
(北広島市)

7日 小学校入学式
中学校入学式

9日 新篠津高等養護学校
入学式
議員協議会

24日 議会広報特別委員会
石狩町村会行政懇談会
村観光協会総会

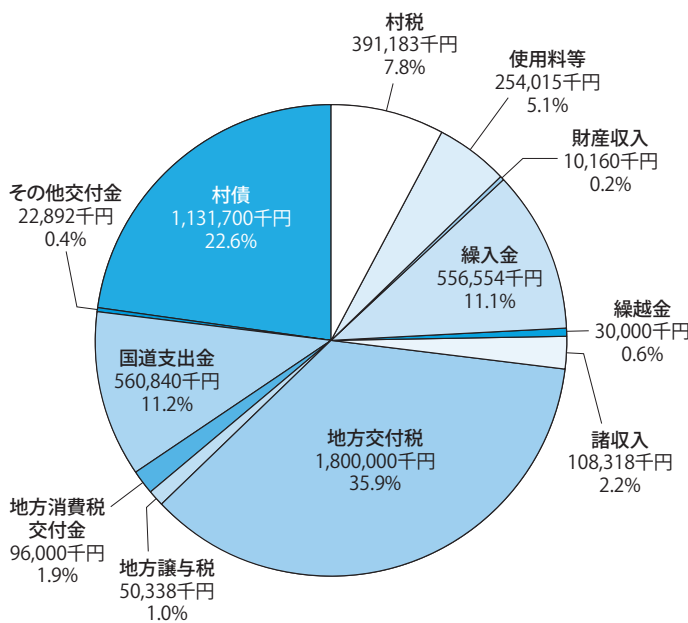
令和8年度 予算 力強く豊かな産業の息づく村へ

たつぷの湯大規模改修、スマート農業機械導入支援など
観光・農業の振興に向けて

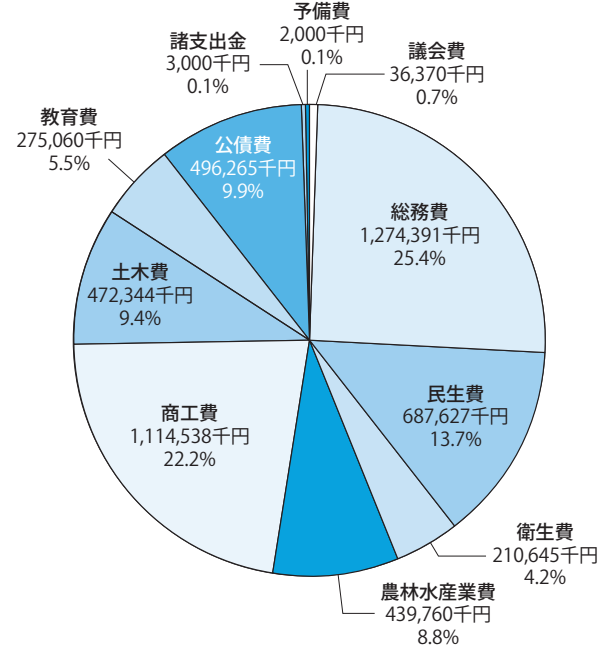
一般会計予算の内容

歳入歳出総額 50億1,200万円

【歳入予算構成比】



【歳出予算構成比】



令和8年度 各会計当初予算

会計名		予算額(万円)	前年度比(%)
一般会計		50億1200	29.9
特別会計	国民健康保険特別会計	6億8200	5.4
	介護保険特別会計	4億3100	2.6
	後期高齢者医療特別会計	1億500	43.8
特別会計合計		12億1800	6.8
企業会計	農業集落排水事業	1億1348	2.2
	収益的収入	1億243	2.5
	収益的支出	9979	1.0
	資本的支出	1369	12.7



高橋 隆光 委員長

令和8年第1回村議会定例会初日（3月9日）に付託された令和8年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 高橋 隆光、副委員長 林 和彦）を設置し、3月12日に審査を行いました。17日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

■ 予算審査特別委員会

令和8年度
予算

一般会計ほか3特別会計などの予算を審議

総務費

■ 山元委員

ふるさと納税の過去の返礼品をみると米の需要が非常に高く、今後も米の確保が重要な課題である。制度上の縛りがあるなか他市町村との差別化を図るなど、今後の戦略は。

□ 山田総務課長

返礼品の価格競争は非常に厳しいのが現状。価格競争ではなく新篠津産米の魅力を生かすなどして増加に繋げたい。

■ 南部委員

新たな移住定住対策の移住促進引越し支援補助金、

定住推進リフォーム補助金、空き家等除却支援事業補助金の内容は。

□ 中井企画政策課長

新たな移住定住関連の事業として、転入者に対し引越し費用として最大20万円、住宅リフォームを行った場合はその費用の一部を最大23万円、空き家等除却支援として最大50万円を支援する事業である。

■ 大塚委員

新たな移住定住関連の事業予算の財源は。また、今後も事業の継続は可能か。

□ 貝田総務課財政係長

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の一部を

活用し、当該事業費へ充当する予定である。今後はふるさと納税での移住定住に係る特定寄付などの活用を検討したい。

■ 林委員

リフォーム補助金の希望者が予定を上回った場合、優先順位はどのように決めるのか。また、所有者不明の空き家で倒壊の危険がある場合の扱いは。

□ 中井企画政策課長

リフォーム補助金は申し込み順で考えている。また、空き家等除却支援は、所有者が明確で、その所有者の意志で解体する空き家を対象とすることを想定している。

■ 北川委員

高齢者運転免許証自主返納サポート事業の利用券を使い切った方へ追加で交付する考えはあるか。

□ 鈴木住民課長

現時点で4割程度の利用券が使用されている。なかには全て使い切った方もいると思われるので、再度交付するのがいいのか対応を検討したい。

■ 植島委員

村広報誌のカラー化によって事業費がどの程度増加するか。

□ 中井企画政策課長

印刷製本費が18万5千円ほど増加する見込みである。

民生費

南部委員

保育所の運営体制が変わることによって、人件費が増えているという認識でよいか。

吉見住民課主幹

運営上必要なものについては指定管理料へ計上するのが適当と考えている。

竹村委員

保育所運営費が増えているが、保育士等の給与は昇給されているか。

吉見住民課主幹

保育士等の給与は、これまで定期昇給を行っている。

北川委員

保育所巡回支援業務は、新年度何回ぐらい実施する予定か。また、どういったことに重点を置いて事業展開していくのか。

吉見住民課主幹

職員の離職防止、保育の質の向上、認定こども園の移行を重点に実施したい。

山元委員

一人暮らしの高齢者の緊急事態を未然に防ぐことは行政の重要な役割りでもあるが、今年度、新たに行う取り組みはあるか。

鈴木住民課長

月2回のふれあいレストランや中央自治区が行う友愛の会、また百歳体操グループも活動している。

また、75歳以上の独居、夫婦世帯に対して包括支援センターが年に一回実態調査を行っており、これからも継続して見守り活動に努めていきたい。

衛生費

大塚委員

アピアランスケア支援事業補助金は、がんになら

た方への支援かと思うが、実際に村民の方から要望等があったのか。

鈴木住民課長

がんやその治療による外見の変化によって受ける身体的、心理的な苦痛などの軽減について要望を受けた経緯があった。

南部委員

産後ケア事業の一部拡大の内容は。

鈴木住民課長

産後ケアサービスを受けた際の自己負担を近隣の市町村と同水準に引き下げて、今年度から宿泊型は6800円を1500円、日帰り型2000円を500円、訪問型は1500円を500円に変更する。

農林水産業費

大塚委員

農業振興センターが行う

パートナー対策事業の中で、女性参加者の年齢を制限しているか。

海野産業建設課主幹

今年度2回イベントを開催したが、いずれも参加者の年齢制限を設けており、対象を25歳から40歳以下として男女ともに同じ年齢設定で行っている。

竹村委員

スマート農業機械等導入促進事業の内容は。
また、現状でどのくらいの申し込みがあると見込んでいるか。

海野産業建設課主幹

農業用ドローンの購入費用に対して20万円、免許取得費用へ5万円をそれぞれ補助する。台数は20台程度を見込んでいる。

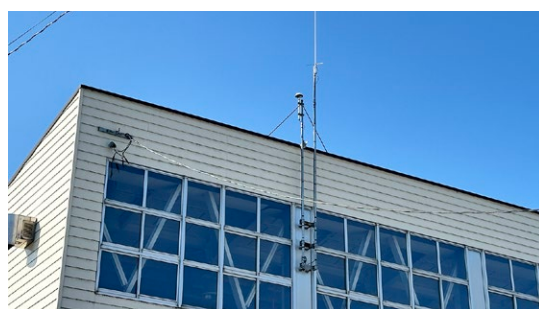
北川委員

RTK基地局改修事業について、夏場は農業分野で、冬場は除排雪に活用している地域もあるが、安全性の

向上や効率、担い手対策にもなるなら除排雪でもこういった基地局の活用はできないか。

東産業建設課長

そういう活用方法ができるかどうか確認したうえで内部で検討したい。



改修予定のRTK基地局(第5地区)

商工費

大塚委員

たつぷの湯改修工事の工期が延びることによって大きな影響があると思うが。

□ 中井企画政策課長

工期に余裕のないなかで拙速に工事を進め、改修漏れや不備がないようにしっかりととした工期を設定し工事を進めたい。

■ 大塚委員

たつぷの湯改修工事中の従業員に何らかの形で新篠津村の仕事をしてもらい、雇用を継続する考えは。

□ 石塚村長

夏場はキャンプ場やゴルフ場もオープンしており、冬はワカサギ釣りもあるもので、そのなかで従業員に有効に従事してもらおう。

また、産直市場のイベントの集客などにも従業員の方向に従事してもらおう方式を農協と協議し検討したい。

■ 林委員

たつぷの湯改修工事のなかでデザイン経費として総額1億円以上の追加工事が入っているが、その費用はどかが負担するのか。

□ 中井企画政策課長

デザインに係る設計費を負担すると指定管理者側から申し入れがあったことでご負担をいただいた。

■ 林委員

温泉、レストランの工事を先行して行い部分的にオープンすれば従業員の雇用も守られ、集客にも大きな影響は出ないと考えられるが、そういった議論はなされたか。

□ 中井企画政策課長

工程上で配管関係を全て分解することになり、分散するとコストがかかる。やるからにはしっかりとしたスケジュールを組んで一括でやる方が経費もかからない。そのことも考慮したうえで一斉リニューアルオープンを予定している。

土木費

■ 北川委員

冬期道路状況監視カメラの設置予定箇所は。

□ 東産業建設課長

ふるさと応援プログラムで採択された事業で、北部地区と南部地区に1台ずつ設置予定である。

■ 林委員

公営住宅1階への入居希望が多くて順番待ちの方がいると聞く。今後解体を予定している村営住宅を安価で販売しリフォームするという使い方を検討してはどうか。

□ 東産業建設課長

公営住宅等長寿命化計画に基づき公営住宅等の解体を予定しており、売買等の検討はしていない。

教育費

■ 林委員

今回購入するスクールバ

スの規格は。

□ 窪田教育次長

子どもの数が減少しておりこれまでの中型バスでは大きいため、マイクロバスの購入を予定している。



更新予定のスクールバス

■ 大塚委員

英語学習支援アプリ利用料の内容は。

□ 吉本教育長

スピーキングに特化したAIアプリである。子どもたち一人一台の端末で利用できる家庭でスピーキング力

を高めるための学びを進めることができる。

まずは子どもたちに英会話への抵抗感をなくし、興味関心を抱かせるツールとして有効活用したい。

■ 大塚委員

中学校の部活動を外部に移行するという国の指針があるが、具体的なスケジュールや外部指導者を確保する手立ては。

□ 吉本教育長

国のガイドラインでは今後6年間で部活動を地域展開していくよう目標を立てている。

次年度から計画的に部活動を地域展開できるよう協議を始めていきたい。

■ 北川委員

トレーニンング器具の購入費が計上されているが、どこに設置されるのか。

□ 窪田教育次長

トレーニンングルーム隣の会議室を改修し、設置する

予定である。

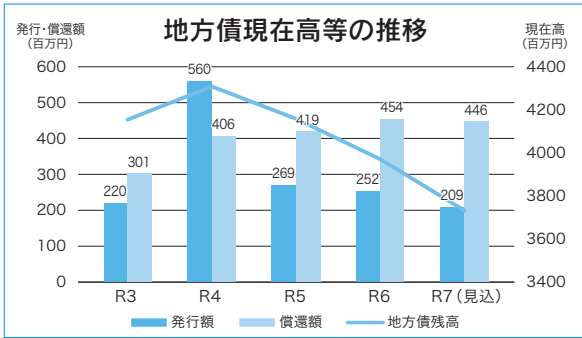
公債費

林委員

地方債の元金償還のピークはいつ頃か。

貝田総務課財政係長

今年度のたつぷの湯改修工事の財源として十分な村債の借入れがなされた場合、その償還が始まる令和12年度をピークと見込んでいる。



一般会計 歳入全般

林委員

村民税の個人、法人ともに令和7年の農業所得が大きく伸びたと思うが、令和8年度の税収見込みは。

伊藤総務課主幹

農業収入が前年よりさらに伸びていると情報を得ているが、予算額は前年度調定額を参考にしつつ確実に収入を見込める額としている。

大塚委員

ガソリンの暫定税率の廃止によって、地方譲与税に影響はあるか。

貝田総務課財政係長

地方揮発油譲与税の中に廃止された暫定税率分も配分されていた。

これが減少することになるが、その減少分については地方特例交付金で補填される。

林委員

財政調整基金の繰入金が前年比4000万円減となっているが、減債基金から1億5千万円を繰入れ、雑入では北海道備荒資金組合の納付金を4800万ほど取り崩しているが。

貝田総務課財政係長

北海道備荒資金組合納付金は6億円以上の残高を有しており、それらも有効活用しなければ将来的な予算編成への影響も懸念される。令和8年度については、少しでも財政調整基金の繰入を抑えて、減債基金や備荒資金組合の積立を活用し予算編成した。

林委員

今後も厳しい財政運営が見込まれるのでは。

古谷副村長

当初予算の編成の中では各歳入項目それぞれ確実に見込める額を計上するため、どうしても歳入不足になり基金の取り崩しが多くなってしまう。

国民健康保険 特別会計

南部委員

総合行政システム機器使用料負担金が前年比で増加している理由は。また、傷病手当金がなぜ皆減となっているのか。

穂坂住民課主幹

総合行政システム機器使用料負担金は、これまでのスターズシステムが全てクラウド化へ移行し統一化された新しい世代のシステムに変更になったことで、総体の額が大きくなり応分の負担が増えた。

また、傷病手当金は、新型コロナによって生じた給

農業集落排水事業会計

大塚委員

下水道で硫化水素が発生することで、それがコンクリートが腐食する原因と分かっているが、そういった対策はなされているか。

東産業建設課長

毎年、管路調査を行っており、詰まりやすい箇所やたわんでいる箇所は清掃などをこなっており、5年から6年かけて管路を全部点検するとの考えを持っている。

今現在そのような大規模改修が必要な管路はないが、引き続き慎重に調査していきたい。

一般質問

村民の声を生かす争点を提起

～聞いてみたい村の考え～



1 南部 隆志 議員

- ① 将来の公共水道事業について
- ② 村内就業者の居住先確保について

2 大塚 裕樹 議員

- ① 中学校の村独自のGX（グリーントランスフォーメーション）教育について
- ② 「空のまち」新しのつ村について

令和8年第1回村議会定例会が3月9日から17日の9日間の日程で開催され、議会最終日に2人の議員が一般質問し、石塚村長と吉本教育長に答弁を求めました。
 （紙面の都合上、要約し掲載しています。）



Q. 安心・安全な公共水道事業
今後の資金調達が課題に

A. 村の支援策と並行し
料金体系の見直しも検討

一般質問

なんぶ たかし
南部隆志 議員



動画はこちら

○石塚村長 答弁
 人口減少による給水収益の減少もあるが、月新水道企業団では、これまで消費税のみの水道料金改定しか行っていないことから、今後は住民の理解を得るうえでも大規模な工事や水道施設更新の実施にあたり、繰入金金の協議等は料金体系と

○南部議員 質問
 新篠津村では、昭和49年に月形町と月新水道企業団を形成して安心・安全な水道水が村民の方々に提供されている。
 昨今、老朽化の進む水道管の更新について全国的な課題となっているが、月新水道企業団においても5年間で約2億円の工事費の負担が必要と積算されており、人口減少に伴う給水収益の減少もあり資金調達が課題があると聞いている。
 水道管の更新等の整備を円滑に執り進めるにあたり今後、月新企水道業団から繰入金等の要望があつた場合の対応は。

並行して検討を進めていくことが必要である。

料金改定及び水道施設の更新に向けた情報収集のほか、民間有識者を交えた審議会設置の準備を進めると聞いているので、それらを基に協議や意見交換を重ねながらどのような支援が良いのか検討したい。

**Q. 村外からの通勤者へ
村内居住促進の対策を**

**A. 村内居住ニーズを検証し
新たな施策を模索する**

○南部議員 質問

現在、村は人口問題の解決策として、村外転入者に対して様々な支援を行い居住促進を図っている。

しかしながら、家庭事情等により村外から通勤して

いる方がいることも当然のことと承知している。

そこで、まずは村内の企業等に就職し過去村内に居住していた、または居住を希望している方々について、何を求めているのか調査を行い村内居住促進対策を検討してはどうか。

○石塚村長 答弁

令和8年度に新たな「まちづくり総合計画」の策定を予定しており、住民へのアンケート等による意識調査とともに、村内企業にも協力を仰ぎながら、通勤者の居住意向や村内居住に障壁となっている要因についての調査等の実施をしたい。その結果を踏まえ、既存の住宅支援政策が通勤者のニーズに沿っているかなどを検証し必要に応じて新たな施策も模索したい。

また、村内で働く方々がこの村を働く場所としてだけでなく住む場所として選んでもらえるよう、実効性のある居住促進策の構築に努めたい。

一般質問

おおつかひろき
大塚裕樹 議員



動画はこちら

**Q. 脱炭素社会の取り組み
中学教育課程で学習機会を**

**A. 地域の教育資源を活用し
高度人材育成の足がかりに**



○大塚議員 質問

2026年4月から「改正GX推進法」が施行され、今後10年間で200万人以上のGX人材の不足が懸念されるなかで、国も高専や大学で育成を進めているところである。

今後、新篠津村は水田の中干しをはじめ、太陽光発電などのクリーンエネルギーなど未来の脱炭素社会での役割が非常に高くなってくると思っている。

まず、地元子どもたちにも脱炭素化の仕組みや水田中干しによるJークレジットの取り組み、クリーンエネルギーなど中学校教育課程において学習する機会を増やし、将来への高度人材育成に繋がる教育に力を入れるべきだと思うが。

○吉本教育長 答弁

本村においては、一昨年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、国レベルでは今後GX人材の不足が懸念されるなか、学校教育が果たすべき役割は次世

代を担う子どもたちの育成である。

この地球規模の課題を自分事として捉え、解決に向かおうとする資質・能力を育むことが大切であると考える。

本村は豊かな水田地帯を有し、水田の中干し期間延長によるJークレジットの創出や太陽光発電などの導入など、脱炭素社会において大きな役割を果たすポテンシャルを秘めており、すでにそれらに着手していることも承知している。

農業体験学習や講話など本村教育の強みの一つでもある地域の教育資源を活用した授業展開により、本村の取組について理解を深めていくことで将来の高度人材育成の足がかりを築いていきたい。

変化の激しい時代において子どもたちがGXへの視点を持ち、持続可能な社会の創り手として成長できるように学校、地域、そして行政が一体となった教育活動を推進していく。

Q. 村の思想・理念・方向性 田園福祉の村ではないか

A. 田園福祉が本村の魂で 空のまちはPRの旗印

○大塚議員 質問
「田園福祉の村」であった新篠津村のブランディングが数年前から突然「空のまち」新しいのつ村に変わり困惑している。
かつての田園福祉の村はコンセプトとしてノーマライゼーションの村、障害の有無や年齢その他の特性に関わらず、すべての人が地域社会で一緒に生活することができるという考え方があった。私も幼少期から幸生園やふれあいの苑の方々などと普通に接するなかで高等養護学校も開校され、

平成7年より今でいう農福連携を始めて外国の方も含め差別のない社会を目指すことに對して常に理解を持って活動してきた。
しかし「空のまち」新しいのつ村はキャッチコピーとしては良いが、コンセプトである思想・理念・方向性が定まっていないう感じがしてならない。
この綺麗な空があるのは先人たちが守り続けている田園地帯であり、農家が点在し、農村部が暗いことから夜空の星を綺麗に見ることが出来る。
そのことを前面に出したコンセプトを打ち出すことが今後、イベント開催でも村民の理解に繋がっていくのではないかと思うが。

○石塚村長 答弁
近年、地方自治体を取り巻く環境は激変しており、関係人口の創出や観光振興において、より直感的で村外の方々の感性に訴えかけるキーワードが必要と感じている。
そこで着目したのが、本村の最大の資産である広大な田園風景と、それを包み込む遮るもののない大きな空である。
それは天文台を拠点とした観光振興、農産物のブランド化、そしてこの空の下で誰もが自分らしく暮らせるという福祉的価値の再定義と考えている。
本村の空が、他の地域にも引けを取らない美しい理由は、農家の方々や街づくりに関わってきた方々が日々土を耕し農村を維持し守り続け、いたずらに開発路線に走らず農村を保護する政策等行ってきたことによつて空を地域の資源として残してくれたからだと思っている。
今後のイベントや広報活動においても議員が実践されてきた農福連携や外国人材との共生を「空のまち」の懐の深さとして発信し、また、わが村が誇る美味しなお米を育むのは、この清浄な空と大地であるという農業と景観が一体となった



田園福祉の村を掲げ建設された施設

ストーリーの構築にも取り組んでいきたい。
「田園福祉」が本村の魂であるならば「空のまち」はそれを広く世に伝えるための旗印とし、両者は対立するものではなく、むしろ農業という基盤の上で結びついているものと考えている。
議員の意見を真摯に受け止め、村民の皆様が自分たちの守ってきた田園こそがこの美しい空を支えているのだと誇りを持ち、コンセプトの浸透と持続可能な農業施策の推進に邁進していきたい。

議会インターネット中継

本会議などの中継（録画）をインターネットで配信しています。

詳しくは新篠津村議会ホームページをご覧ください。



議会通信しんしのつ

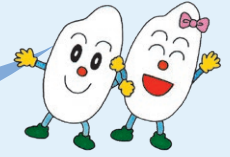
議会通信しんしのつは、新篠津村議会ホームページからでもご覧いただけます。

過去の議会通信も掲載しております。ぜひ、ご覧ください。





議会の動き



議会議員研修会

令和7年度新篠津村議会議員研修会を3月5日、役場会議室で開催しました。
研修会では、村企画政策課商工観光係「地域おこし協力隊」の山本修さんと布廣直人さんから「地域おこし協力隊としての活動について」と題して、2人がこれまでに取り組んだ活動内容を振り返り報告していただきました。



講演いただいた地域おこし協力隊の山本修さん（写真右）と布廣直人さん

令和8年 第2回定例会のお知らせ

6月5日(金)

～6月12日(金)予定



どなたでも傍聴
できます。
皆様のご来庁
をお待ちしてお
ります。

編集後記

例年がない今冬の小雪は、余裕をもって春作業に取り組みむことができるので、農業を営む私たちにとってはとてもありがたいことなのです。それは圃場がしっかりと乾き、農作物が順調に生育することが期待できるからです。しかし、最近の猛暑や集中豪雨などの異常気象のことを考えると、小雪の影響が出ないかとの懸念もあります。何より気がかりなのは昨今の中東情勢です。

燃料や肥料などの諸資材が高騰しており、やとと良くなってきた農家の経営も先を見通せなくなるのでは…と心配していますが、農作物を消費者に届けるのが農家の使命ですから、どんなことがあってもきちんと生産し消費者に届け、皆さんが安心して生活できるように努力を重ねて行きたいものです。

そして国は物価高騰対策に様々な取り組みをすると発表していますが、今後、村民の生活を守るためその対策に注視しながら私たちも諸活動に専心して行かなければと考えています。

(林記)

